## 慶應義塾大学出版会 2024 年 12 月新刊のご案内



※今月のみ受注の書目です。

### 芸術/知財法

# 美術館・博物館の事件簿 🔰

(2024年12月中旬刊行予定)

島田真琴(一橋綜合法律事務所弁護士)[著]

四六判並製/ 224 頁 税込予価 2,640 円 ISBN 978-4-7664-2999-2 C0032

#### ☞ ココに注目!

- ・知られざる美術館の舞台裏と文化財の闇に迫る!
- ・「表現の不自由展」「琉球王家の遺骨問題」の真相とは?
- ・16の法廷ドラマと15のコラムでアートをめぐる真実を暴く!

法廷に持ち込まれた事件から、美術館・博物館が直面する法的問題や倫理的課題を探る。「高知県贋作購入事件」や「昭和天皇コラージュ事件」など、日本を舞台とする事例も多く取り上げながら、美術館・博物館運営の舞台裏を明らかにする。

- 対象 美術館・博物館を取り巻く背景知識に関心のある一般読者
- 類書 ちいさな美術館の学芸員『学芸員しか知らない 美術館が楽しくなる話』 (産業編集センター)

## 【営業部からのおすすめポイント】――

一見取り澄ました美術館・博物館も、その裏では様々な事件に直面しています。 日本では「表現の不自由展」にまつわるニュースが話題になりましたが、フランク・ステラ作品の損壊事件や、ホロコースト被害者の美術品返還問題など、国際的にも話題となる具体的な事例を実際の事件・裁判から解説。美術館・博物館の舞台裏を知るだけでなく、アート市場の新たな視点を得ることができます。アート愛好家から美術・法律の専門家まで幅広く楽しめる内容です。 (福本)

## 【目次】

#### I 美術館・博物館の舞台裏

【事件 01】展覧会で展示中に損壊した現代美術家フランク・ステラの作品

【事件 02】展覧会のために借り受けた名画の返却を禁じられた美術館

【事件03】スペインの著作権争いに巻き込まれた日本の三つの「ダリ展」

【事件 04】 20 世紀アートの殿堂ペギー・グッゲンハイム美術館をめぐるグッゲンハイム一族間の争い

#### Ⅱ 美術館・博物館が直面する倫理的要請とのジレンマ

【事件 05】 ユダヤ人銀行家が所蔵していた 5 枚のピカソ絵画の行方

【事件 06】大英博物館の収蔵品はホロコーストの被害者の遺族に返却できるのか?

【事件 07】ロンドン自然史博物館が収蔵していたタスマニア先住民 17人の遺骨

【事件 08】 琉球王家の墓から持ち去られた遺骨を保管する(?) 京都大学綜合博物館

#### Ⅲ 美術館・博物館の現代的課題

【事件 09】博物館が処分を決めたアメリカ人気画家ノーマン・ロックウェルの傑作

【事件 10】美術館がアーティストから購入した作品を公開しないのは表現の自由の侵害か

【事件 11】再び開催が中止になりかけた表現の不自由展

【事件 12】ジェフ・クーンズの回顧展を開催した美術館は著作権を侵害した?

#### IV 文化財の購入、変更、処分の規制

【事件 13】イタリアで重要文化財に指定されたヴァン・ゴッホ作品「庭師」の買主は?

【事件 14】奈良の新薬師寺が所蔵する重要文化財、准胝観音立像の売却

【事件 15】 ニューヨークを代表する歴史的建造物グランドセントラル駅は改築できない?

【事件 16】一夜のうちに消え去ったニューヨークのストリートアートの聖地

## 『 ご注文は FAX で! 03 − 3451 − 3124 『

	番線	ご注文部数	発行所:慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新			島田真琴 著		
新刊委託			美術館・博物館の事件簿	2,640 円	****
			ISBN978-4-7664-2999-2 C0032		

★1つで「500部」を表します

#### 関連既刊(ぜひ併せてご注文ください!)

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所:慶應義塾大学出版会	定価(税込)
			島田真琴著 アート・ローの事件簿 盗品・贋作と「芸術の本質」篇 ISBN978-4-7664-2883-4 C3032	2,420 円
			<sup>島田真琴 著</sup> アート・ローの事件簿 美術品取引と権利のドラマ篇 ISBN978-4-7664-2884-1 C3032	2,420 円